

# 令和5年度 大江町立左沢小学校 学校経営方針

校長 建部 敦

## 0 はじめに

令和元年度末にはじまったパンデミックにより、新しい生活様式という名の様々な行動制限を学校の教育活動の中でも実施しなければならなかった。未知なるウイルスから学校関係者の命、健康を守るため仕方がなかったとはいえ、3年に渡る制限の影響は潜在的なものを含めてあまりにも大きいと感じる。

令和5年度は、コロナ禍で工夫改善してきた取り組みも生かしながら、子どもたちが仲間とともに学ぶ“よろこび”を感じることができる学校づくりを進めていく。

また、創立150周年を迎えた年に、記念事業への取り組みを軸として保護者の方々や地域の方々とのつながり、むすびつきを確かなものとし、教職員だけでなくみんなが子どもたちのより良い育成を目指す学校づくりを進めていく。

## I めざす学校像 ⇒ 愛され続ける学校

- 1 全ての子どもたちが、生きる力を身につけられる学校
- 2 全ての子どもたちが居心地の良さを感じる安全で楽しい学校
- 3 全ての教職員が、夢と誇りをもって元気に働くことができる学校
- 4 家庭・地域と連携協力しながらともに歩む学校

## II 学校教育目標 と めざす子ども像

〈学校教育目標〉

『 **あかるく**   **かしこく**   **たくましく** 』

徳

知

体

〈めざす子ども像〉

**よろこびを力にできる子ども**

- 心豊かな子ども (あかるく)
- 進んで学ぶ子ども (かしこく)
- 健康な子ども (たくましく)

- ## III 学校スローガン
- ⇒一人ひとりの夢（願いや想い）を色にとえ、それらが集まり美しく響き合っているイメージが「夢色」。「夢色の学び舎」とは一人ひとりの願いや夢が尊重され、互いにより良く高め合える学校のことである。大江町が大事にしている「共生」という言葉にそんな願いを込め4年目となるが、ポストコロナに向けて一層“ともにつくる”ことを大事にしたい。

『 **共 生** ～ともにつくりよう夢色の学び舎～ 』

#### IV めざす教職員像 ⇒ 学び続ける教職員

- 1 夢と情熱をもって教育活動に取り組む教職員
- 2 子どもの思いや願いを大切にしながら、支え導く教職員
- 3 チームで課題の克服に挑む教職員
- 4 家庭、地域とのつながりを大事にできる教職員

#### V 重点取組事項

##### みんな仲よく花と咲く学校づくりの推進

- 1 全ての子どもたちにとって居心地の良い  
仲良く信頼し合える関係づくり・集団づくり
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の充実〈端末の日常的活用を加速化〉
- 3 ポストコロナに向けた心と体の健康づくり

※1の心を育てる関係づくり・集団づくりを大きな土台とし、その中で2と3の取り組みを進めていく。

#### VI 経営の基本方針

- 1 “令和の日本型学校教育”を基本としながら、「よろこび」があり「持続可能」な質の高い教育活動を推進する。
- 2 日常的に子どもたちを全職員で支援していく校内体制の充実を図る。
- 3 SDGsをふまえたふるさと教育を充実させ、子どもたちに大江町や山形県を愛する心情を育んでいく。
- 4 安心して学びあうことができるよう、安全で美しく潤いある教育環境を整える。
- 5 学校における働き方改革を組織的・段階的に進めながら、一層風通しの良い職場をつくることで、教職員が常にあかるい笑顔で子どもたちの前に立つことができるようにする。
- 6 学校運営協議会を軸に家庭や地域とのつながりを大事にすることで、信頼される学校運営を目指す。

#### VII 経営の重点と具体化

##### **みんな仲よく花と咲く学校づくりの推進**

##### みんな仲よく

集団は一人ひとり考えや価値観のちがう存在の集まりである。違っている他者を排除するのではなく、相手の主張に耳を傾け自分の考えを述べお互いを大事にしながら折り合いをつけていくこと、仲良くすること。これは町の教育理念でもある「共生」そして「SDGs」のパートナーシップにも通じる、今最も大切にしたいことである。いのちの教育のわかりやすいキーワードとして関連させていく。

##### 花と咲く

一人ひとりが協働と個別最適化を大切にした教育により、自分らしさや自分の良さを知り、自らの力を最大限発揮すること。(=自分の花を咲かせること)

「みんな仲よく花と咲く」をさらに広げて…

◇SDG s との関連性を持たせた教育活動により、広く社会に目を向けさせ未来を創るのは自分たちであることを意識させる。

◇世界の人とコミュニケーションを図るため外国語教育を一層充実させる。

## 1 全ての子どもたちにとって居心地の良い、仲良く信頼できる集団づくり

(1) 創立150周年記念を心の支えに、協働の良さを生かした集団活動の充実

①校内外でのあかるくさわやかなあいさつ

いつでも、どこでも、誰にでも。校内でも校外でも自分から進んで元気を発信。

②互いを尊重し合い思いやりの心が育つ学級・学校づくり

学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事等の充実、全教職員による好ましい行為への価値づけ、自尊感情を高める場の設定、合唱活動の再開

③異学年交流活動の推進

縦割り班活動、主体的な交流学习や交流活動を通し、自分でできることは精一杯やり、苦手なことは助けてもらい感謝する体験を重ねる。また、その中で約束やルール、マナーを身に付けていく。

(2) 多様な子どものニーズに応じた教育活動の充実

①全ての子どもに役立つ特別な配慮がある教育環境整備と教育技術の向上

②担任力向上のための校内外研修の推進

③保護者と思いや願いを共にする場の設定及び連携による見通しある支援

## 2 「主体的・対話的で深い学び」の充実

(1) 学びの構えづくりと豊かな教育環境づくり

①シンプルでわかりやすい学習規律の共有と徹底

②落ち着きと潤いのある学習環境の整備と定期的見直し

③学年ブロック（低・中・高）における教科担任制の推進

(2) 日常的な授業改善と端末の効果的活用

①全職員が自分事として深め合うことができる学校研究の推進

②育成したい資質・能力、めざす子どもの姿を明確にした授業づくり

③持続可能で共に学びをつくりあげる姿勢を重視した授業改善

④学びの効果を高める場面での日常的端末活用の加速化

(3) カリキュラム・マネジメントの推進

①教科横断的な視点による教育内容の組み立てと実践、持続可能な社会づくりと関連させた教育の実践

②定期的学校経営の評価と共有化、改善

### 3 ポストコロナに向けた心と体の健康づくり

#### (1) 体力向上の取り組みと相談体制の充実

- ①望ましい生活リズムの確立と習慣化 (メディアコントロール・自己コントロールできる力の育成)
- ②体を使った遊び、日光浴の奨励
- ③食育指導と教科体育内容の充実と改善
- ④不安や悩みの軽減につなげるきめ細やかな校内外相談体制

#### (2) 適切な安全教育と段階的行動制限緩和への移行

- ①安全・防災教育の充実と反省を活かした実践的訓練
- ②危険予知能力を高める全体指導
- ③校舎内外環境の確認、点検、整備 および 緊急時における連絡網の周知徹底
- ④マスクを取ることや距離が近くなること等への心理的抵抗を和らげ、状況に応じて適切な判断させるための段階的指導

## Ⅷ 信頼される学校経営に向けて

#### (1) 保護者や地域への積極的情報発信による学校教育への理解

- ①創立150周年記念の年を効果的に生かし、「大楓」等の各種たより、ICT機器の活用等での情報発信を強化
- ②保護者や地域を対象にした授業や学校行事の公開 (制限から緩和へ)

#### (2) 学校・家庭・地域の連携

- ①家庭と連携した家庭学習、読書活動、長期休業中の体験活動等
- ②教育活動に関するアンケート調査の実施と調査を踏まえた学校運営の改善
- ③学校運営協議会との連携による効果的 school 経営

#### (3) 教職員の資質向上

- ①教育公務員としての使命感、倫理観、服務規律の自己確立
- ②望ましい人間関係とあかるく風通しの良い職場づくり (同僚性の確立)
- ③学校経営参画意識の高揚と組織の一員としての自覚

#### (4) 学校における働き方改革の推進による明るく魅力あふれる教職員

- ①教職員評価面談と常時面談の充実
- ②自主的な定期的働き方の見直しと改善
- ③主体的な心身のリフレッシュ